

市場のあり方戦略本部 (第 3 回)

平成 29 年 6 月 15 日

はじめに

市場のあり方戦略本部の位置付けとロードマップ

<位置付け>

豊洲市場における土壌汚染対策等に関する専門家会議や市場問題プロジェクトチームによる検証の成果を集約した上で、市場の将来的なあり方など、残された諸課題を含めた総点検を行い、ロードマップにおける知事の「総合的な判断」の材料を整えるための庁内検討組織として設置

<検討事項>

以下の3つのテーマで総点検を行う

- ① 都民の理解と納得
- ② 豊洲・築地市場の課題
- ③ 市場の将来的なあり方

※ 検討にあたっては、必要に応じて関係者からヒアリングを実施

豊洲市場への移転に向けたロードマップ ～平成28年11月18日 小池知事記者会見資料～

2017年

2017年 2018年

1月

4月

5月

6月～7月

冬～春

▶ 専門家会議、市場PT等は、審議を尽くして報告書を作成。よって、とりまとめ時期は、あくまで想定。

地下水モニタリング結果

第9回

専門家会議の審議・評価

報告書とりまとめ
(地下空間の安全性の
検証と必要な対策)

市場問題PTの審議

報告書とりまとめ

環境アセスメント審議

再アセス

必要

不要

1～2か月程度

総合的な判断

総合的な観点から
移転するかどうか
を判断

必要な追加対策工事

想定として入札から
着工・完了まで
6か月程度と見込む

農水大臣への認可手続

適切な場所での開設、
業務の適正かつ健全
な運営の確保などを
審査(卸売市場法)

豊洲市場への移転に向けた環境が整う

移転時期は、業界団体と
調整のうえ、決定

2018年 2019年
冬～春

15か月程度

「いったん立ち止まった」ことで明らかになった事実

- 「無害化された安全な状態での開場」を都民に約束していたが、第9回地下水モニタリングの結果、79倍のベンゼンなど、環境基準を超える地下水が検出された
- 敷地全面に盛土をすとしていたが、豊洲市場の主要建物下に盛土がなく、地下ピットが存在していることが明らかになった
 - ⇒ 改めて設置した専門家会議において安全性の検証が進められ、地下ピットの安全対策や地下水管理システムの機能強化策など、豊洲市場の安全・安心を確保するための具体的な対策が提示された
- 豊洲市場の事業継続性、市場会計の持続可能性に問題があることが明らかになった
 - ⇒ 市場問題プロジェクトチームにおいて、豊洲市場の建物の構造安全性や築地市場の再整備も含め、幅広い検証が行われた

これまでの議論(H29.4.27 第2回戦略本部)

1 はじめに
市場のあり方戦略本部の位置付けと
ロードマップ

2 諸課題の検討

(1)卸売市場の役割と都の現状

(2)移転検討の経緯

(3)豊洲移転延期後の様々な取組

(4)現・築地市場と豊洲市場(現状比較)

3 検討テーマ(課題の検証)

(1)豊洲市場の課題への対応

(2)築地市場現在地再整備における
課題

(3)中央卸売市場会計の持続可能性の
検証

I

第3回 6月15日(木)

- 1 「市場のあり方」について
 - (1) 流通環境など、市場を取り巻く状況の変化
 - (2) 利用者から見た市場のあり方～ヒアリングを通じて

まとめ [①-1 消費者ニーズへの対応](#)・・・41

[①-2 物流変化と市場の役割](#)・・・42
- 2 11市場全体で見た市場運営のあり方の検証
[まとめ ② 市場運営のあり方](#)・・・71
- 3 中央卸売市場会計の持続可能性の検証
[まとめ ③ 事業継続性の確保](#)・・・88

II

第4回 6月16日(金) 予定

- 4 豊洲市場の課題への対応
 - (1) 「無害化」の議論の整理
 - (2) 安全・安心な市場のための対応策
 - (3) 事業継続性確保に向けた努力

まとめ [4 豊洲市場の安全・安心の確保](#)
- 5 築地改修案(現在地再整備)について